

大志

山岡中学校だより

令和7年度 4月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 TEL 26-6882

まずは元気で、そしたら次を考えよう

校長 後藤 琢磨



「幸せそうに笑っている奴を見ると殴りたくなる。」昔、ある子が言った言葉です。

今から10年ほど前、私は県立わかあゆ学園という児童自立支援施設に3年間勤務しました。家を飛び出し、世間を恨み、叱られると激しくすねて、自分も他人も平気で傷つける非行少年・虞犯少年たちと、寝食を共にして過ごしていました。

こんなつぶやきをした子がいます。「自分を産んでくれた両親には感謝するけど、自分を捨てたことは一生許さんでね。」テレビの中の家族団欒の映像を涙目で観ているその子に、私はかける言葉がありませんでした。

そんな彼ら彼女らも、いつも不幸を感じていたわけではありません。自由時間にはよくプラスチックバットと柔らかいボールで野球をしました。この子たちは、集団で遊ぶのが苦手です。なぜなら、すぐケンカになるからです。私たち職員を独占して、1対1で甘えたいのです。

ある時、ある子が投げたボールが、バッターである私の背中の方に来たので、私は変な打ち方になりました。それが笑いのツボにはまったようでその子は笑いが止まりません。投げて打って大爆笑を重ねて、その子は不幸から脱却する小さな術を見つけたようです。遊び終わった後、「後藤先生、明日も遊びましょう。」と、あれほど嫌っていた幸せそうな人にその子自身がなっていました。

たとえ心が荒れ果てていても、自然に笑えてしまうことが起きれば素直に笑えばいいんだとあの子は悟ったのでしょうか。あの子にその後、素敵な出会いがあり、笑顔の日々を過ごしているなら、私はそれ以上の喜びはありません。

令和7年度が始まりました。山岡中学校の生徒も、一人一人がそれぞれの事情を抱えて生きています。まずは元気で、毎日を過ごすことからです。そしたら次を考えましょう。

「もう今元気だよ。」という人は、ぜひ周りにも元気をください。

新しい1年生25名を迎えた76名の全校生徒が、元気に卒業できるように、私たちは全力を尽くします。

保護者・地域の皆様、どうぞよろしく申し上げます。

